

鉢のさばき

2026年6月21日

ヨハネの黙示録 16章1～21節

序：大患難期の前半：(1)封印のさばき（6章1～17節、8章1～6節）
第1～第6、第7

(2)ラッパのさばき（8章7節～9章21節、11章15～19節）
第1～第6 第7

大患難期の後半：(3)鉢のさばき（16章2～21節）

鉢のさばき

- I. 第1の鉢：獣の刻印を受けている者と獣の像を拝む者たちにひどい悪性の腫れ物
2節 皮膚を打つ
- II. 第2の鉢：海が血（腐敗）となり、海中の生き物はみな死滅
3節 ラッパのさばきでは $\frac{1}{3}$ だった 残り全部
- III. 第3の鉢：真水・水源が血（腐敗）し、飲めなくなった
4～7節 ラッパのさばきでは $\frac{1}{3}$
水をつかさどる御使いが聖なる神の義を宣言
預言者や聖徒たちのために、神が復讐なさった：血には血を
祭壇からの声 6・9～10、9・13、15・3 : 神のさばき＝真実で正しい
- IV. 第4の鉢：灼熱の太陽の熱が人々を焼いた
8～9節 彼らは神の御名を冒瀆し、悔い改めなかった：神に栄光を帰さない
- V. 第5の鉢：獣の座・獣の王国（反キリストの支配）に暗黒
10～11節 cf. 出 10・21～23 エジプト全土に真っ暗闇 イスラエル人の所には光
が なかった
苦痛と腫れ物のゆえに舌をかみ、神を冒瀆、悔い改めない
- VI. 第6の鉢：(1)大河ユーフラテスの水が濁れた
12～16節 ハルマゲドンの戦いに招集されて、東方メソポタミアから上ってくる
軍勢に道を備える（乾いた地をたやすく渡って来られる）

(2)竜（悪魔）と獣（反キリスト）と偽預言者＝悪の三位一体の口から三つ
の汚れた霊（しるしを行う悪霊）が、神に反逆する全世界の王（7人）
のところに出て行く
最後の戦い（集合地がハルマゲドン）へ召集する
悪霊たちは、残っている $\frac{1}{3}$ のユダヤ人を殺そうとしている

(3)生き残っている聖徒たちへの励まし
主の再臨は真近
目を覚ましていよ
信仰によって、与えられた義の衣をしっかりとまとっていよ

Ⅶ. 第7の鉢：最終的なさばき（神の怒り・憤り）が完了したとの宣告
17~21節 (1)稲妻、雷鳴、未曾有の大きな強い地震

(2)エルサレムが三分裂 ⇒ 千年王国のため

(3)世界の地理は大変化：街々も島々も山々も
政治的・宗教的な世界大の組織・機構も滅亡

(4)巨大な雹（約3-4kg）が天から人々の上に降った
人々は神を冒したが、悔い改めなかった

Ⅷ. ハルマゲドン（メギドの丘、イズレエル平原、ガリラヤの近辺）への段階

(1)反キリストにつく世界規模の軍勢の結集（第6の鉢）

(2)バビロンの崩壊（by この時、生きている異邦人聖徒）

(3)エルサレムの崩壊（by イズレエルから南下してくる軍勢）
イスラエルの残りの民はボズラ（ペトラ）に逃れている

(4)反キリストの大軍勢はエルサレム ⇒ ボズラ（ペトラ）へ進軍

(5)イスラエルの国家的（民族的）救い
悔い改めて、主の御名を呼び求める
主の地上再臨の3日前から

(6)キリストが地上に再臨

(7)反キリストの軍勢がエルサレムに戻って、キリストと激戦
ケデロンの谷で敗北

(8)栄光の主がオリーブ山に立つ（第7の鉢：大患難時代終了）

Ⅸ. 結び

(1)神の時刻表は正確である
悪の三位一体も神に敵対してやまない不信者たちも成就を止めることはできない

(2)神のご計画の成就のために、さまざまな人々、いろいろな状況が用いられる

(3)大患難時代の聖徒たちが通る激しい苦難においても、主は絶えず希望を指し示し
忍耐と信仰によって勝利を得ることを約束される

(4)神への背き・敵対を主は忍耐されるが、いつまでもそうされるわけではない
必ず、神を冒し、悔い改めない者にはさばきを行われる

(5)非常な痛みや痛みが与えられても、決して悔い改めず、神に敵対し続ける人間の
罪深さ・頑さ・無神経さは相当なもの、決して容易ではない

(6)そのような中でキリストによる救いをいただいたのは、ただ神の恵みでしかない
愛なる神に感謝して仕えよう

(7)神は聖であり義でもられる ゆえにさばきもなさる 神の真実・公正さの現れ
である 親しくもやさしい畏れをもって神の御前にいよう